

2021年11月11日

大規模災害を想定した、本番さながらの訓練 11月11日(木) 玉川上水車両基地にて 「2021年度 総合復旧訓練」を実施しました

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:喜多村 樹美男)では、2021年11月11日(木)に玉川上水車両基地(東京都東大和市)において、「2021年度 総合復旧訓練」を実施しました。

これは、大規模災害による事故を想定し、災害が発生した際、お客さまの安全を最優先に、早期に復旧できるように毎年実施している実践的な訓練です。

西武グループでは、「ESG」に関する活動を「サステナビリティアクション」としてグループ全体で取り組んでおり、本訓練は、当社が特に取り組むべき4領域(安全、環境、社会、会社文化)のうち、「安全」に係る取り組みです。詳細は、以下のとおりです。

1. 訓練日時

2021年11月11日(木)10時00分~12時30分

2. 訓練想定

東京湾北部を震源とする震度6弱の地震が発生し、沿線各地に大きな被害が出ている。この影響により、新宿線は所沢~東村山駅間において列車が脱線し、列車内の乗客に怪我人が多数発生している。

また、沿線火災が発生し、鉄道敷地内の草花に延焼したほか、停電の影響で踏切遮断機は遮断継続中であり、ターミナル駅では帰宅困難者も発生した状態となっている。

3. 訓練内容

- ・避難誘導訓練
- ・お客さま対応訓練、帰宅困難者対応訓練
- ・脱線復旧訓練
- ・通り変位復旧訓練、軌道検査訓練
- ・踏切開放訓練
- ・電車線不具合復旧訓練 など



社長 喜多村による講評の様子

4. 訓練の様子

■避難誘導訓練 (担当:運輸部)

乗車中や駆け付けた社員およびお客さまの協力を得て、車両に設置した非常はしごなどにより、すべてのお客さまを降車させ最寄りの駅まで避難・誘導する想定で訓練。



避難誘導訓練

■**お客さま対応訓練・帰宅困難者対応訓練**（担当：運輸部）

電車の見合わせが発生した際に、急告板や放送による案内を実施する。また運行見合わせが長時間となり、帰宅が困難になったお客さまに対し、備蓄品を配布する訓練。



帰宅困難者対応訓練

■**脱線復旧訓練**（担当：車両部）

簡易ガス切断機を使用し、電車前面のスカート(前面下部覆い)を3分割に切断し撤去した後、2基の油圧ジャッキなどを使用し、車両の水平を保ちながら車体をレール上面まで上昇させ、作業者が呼吸を合わせながら慎重にレールまで横送りし、復線させる訓練。



脱線復旧訓練

■**通り変位復旧訓練・軌道検査訓練**（担当：工務部）

ゆがんだ線路を人力で元に戻し、破断したレールの継目板と呼ばれる部品とボルトを使用してつなぎ合わせ、碎石の流出箇所および陥没箇所に碎石を投入、タイタンパー(振動工具)を用いて碎石をつき固め、線路を固定する訓練。

トラックマスター(線路の状態を数値化する機器)で列車が通ることのできる安全な線路に仕上がっているかを確認する訓練。



通り変位復旧訓練

■**電車線不具合復旧訓練**（担当：電気部）

列車が安全に走行できるよう、また正常に電気が供給されるよう軌陸車を用いて、外れたハンガー(トオリ線を吊るための金具)を取り付け、添線を用いて、ゆがみが生じたトオリ線を真っ直ぐにする電車線(架線)の復旧訓練。



電車線不具合復旧訓練

5. その他

- ・昨今の列車内における傷害事件の発生を踏まえ、所定の訓練終了後、車内設備(車内非常通報装置、ドアロック、消火器など)について、当社社員に向けた再周知を行いました。
- ・本年度は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止を目的に、警察・消防および見学・乗客役をしていただくお客さまは不参加で実施しました。

<参考>

◇訓練使用機器・工具について



<非常はしご>

事故や災害の発生により駅間で電車が停止した場合、お客さまを電車外へ避難・誘導するために使用します。



<脱線復旧システム「ルーカス」>

車両の脱線復旧のほか、車両と線路の間に物が挟まった場合にも使用します。



<レールスター>

軌道自動自転車とも言い、エンジンが搭載されているので災害時の被害状況調査等に使用しています。



<タイタンパー>

線路(道床)のつき固めをする機械です。



<トラックマスター>

軌道検測を人力で行う装置です。検測車に比べ補修箇所をピンポイントで測定可能で、測定値をデータで管理することができます。



<軌陸車>

架線等の電力設備の点検に使用する、軌道と道路の両方を走ることができる車両です。



<帰宅困難者用備蓄品>

大地震等の災害発生時、避難場所までの移動が困難な方を優先にお配りします。

■西武グループ サステナビリティアクションの取り組み



西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき行う幅広い事業・サービスの提供を通じて、持続的な社会形成への課題対応を図ることで、当社としても持続的かつ力強い成長を目指しています。これら環境、社会、ガバナンスなど一般的に「ESG 活動」と呼ばれる活動を西武グループでは「サステナビリティアクション(ESG)」と呼び、グループ全社において持続的な成長を遂げるため取り組んでいます。また、西武グループでは社会課題・当社の事業環境等を踏まえて、特に取り組むべき 4 領域(安全、環境、社会、会社文化)、12 アジェンダ(重要テーマ)を設定し、アジェンダに沿った取り組みを積極的に進めています。

<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

- 今回の取り組みを通じて特に貢献可能な SDGs の目標



◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間: 9 時~17 時(全日)]

以上